

### 介護保険料について

**質問** 二〇〇〇年に導入された介護保険制度の主なる変遷について伺いたい。また、介護予防への取り組みと介護保険料が増えている要因について伺いたい。

**答弁** 介護保険料は、三年毎に見直しが行われており、当初の三年間が基準月額で三千四百十四円、次が四千六百六十九円、そして二〇〇六年から二〇〇八年までが五千七百七十円としている。取り組みの内容としては、

地域包括支援センターを設置し、介護を要する危険性の高い方への個別の支援を行う事業や一般高齢者の方に対し、地域活動支援事業や巡回バスによる送迎と入浴、健康体操を行うなどを内容とした温泉等活用事業を計画している。

介護料の高くなる要因については、要介護認定者数やサービス提供事業者の増加による給付額の増及び一人当たりの給付額が旧八市の中で一番高いことが挙げられる。保険料の上昇を抑制する意味でも、介護関係施設の増設については必要性を見きわめ、慎重な対応が必要であると考えます。



AED講習会の一場面

### AEDについて

**質問** AED（自動体外式除細動器）の講習受講者数はどれくらいか。

また、AEDの市民への周知と使用者（講習終了者）の対策を伺いたい。

**答弁** 平成十六年七月からAEDの講習終了者に限り一般人でも使用が解禁となったことを受け、平成十七年四月より市及び十和田消防署等が主催し講習会を実施しており、今年二月現在で約七百六十名が受講している。

一般市民に聞きなれないAEDの周知については、引き続き広報や町内会の健康教室などを通じて周知しながら、講習会の受講を促していきたい。また、不特定多数の人が集まる市のイ

ベントや行事に際しては、安全対策を考慮しながら、AEDの貸し出しも考えている。

### 成年後見制度について

**質問** 訪問リフォーム詐欺や訪問販売詐欺、そして振り込め詐欺など、生活弱者の財産と生活を守るために五年ほど前から成年後見制度がスタートしたが、当市の状況とその取り込みについて伺いたい。

**答弁** 現在、相談等については、社会福祉協議会が行う地域福祉権利擁護事業のサービスの利用につながるなど、本人の生活を支援している。

今年度からは、地域包括支援センターを新たに設置し、また、障害者自立支援法が施行されることから、相談業務や障害区分認定調査の中で成年後見制度の利用が必要と判断した場合、親族の申し立てが適切に行われるよう支援し、申し立てを行える親族がいない場合には、市町村長による申し立てが必要になることから、この申し立てに係る要綱を整備し、実施していきたい。また、この制度は一般的

に周知されていないことから、広報等により制度の周知を図っていきたい。

### 成年後見制度とは・

認知症、知的障害、精神障害などの理由で判断能力の不十分な方々を保護し、支援する制度です。

### オストメイト用トイレの設置について

**質問** 建設中の中央病院、また、建設予定のアートセンター、（仮称）教育福祉総合プラザや既存施設にオストメイト対応のトイレを設置する考えはないか伺いたい。

**答弁** 新病院においては、一階に二カ所、身体の不自由な方のためのトイレを設置する予定であり、オストメイトの方々を利用できるものと考える。

アートセンターについては、現在実施設計がほぼ完了しており、設置予定の身体障害者用トイレにオストメイト用設備が設置することが可能か検討していきたい。（仮称）教育福祉総合プラザについては、福祉の拠

点施設、また、障害者の活動支援などの役割を担うことになるので、このトイレの設置については配慮していきたい。

既存施設については、現在ほとんどが設置されておらず、スペースの問題、財政的な問題等を含めて検討する必要があると考える。

### オストメイトとは・

人口肛門や人口膀胱を保有する方たちのことです。



十和田奥入瀬合同庁舎内に設置されているオストメイト用トイレ（多目的トイレ）

### 行政栄養士について

**質問** 十和田市において行政栄養士は何人いるのか伺いたい。また、行政栄養士は十分なのか伺いたい。

**答弁** 平成九年度から健康推進課に常勤で一名を配置している。行政栄養士は妊

婦を初め乳幼児や学童、高齢者に至るまで保健師とともに保健センターや地域集会所において一人一人にきめ細かい食生活指導や栄養改善指導を行っている。現在配置されている栄養士と保健師が一体となり取り組むことで、現在の一名の体制で対応できているものと考えている。

### 建設

### 除雪対策について

**質問** 新市となり初めての冬を迎えたが、とりわけ十和田湖町の除雪について苦情など、どうだったのか伺いたい。

**答弁** 旧町の除雪体制については、一部を直営から業者への委託となったが従来と変わらない路線の除雪を行った。しかし、今年度の降雪は想像以上の量と寒さであり、苦情については、その都度出向いたり、電話等で市が行う部分と市民が対応してもらおう部分に区別し、理解を求めながら処理作業を行ってきた。市全体では、苦情件数は集計していないが、平年並みと思われる。